

稲作農家 各位

# 山武稲作情報 第6報(2018年7月27日発行)

山武農業事務所 改良普及課

電話 0475-54-0226

FAX 0475-52-7914

## 山武地域の生育状況

平年より高温の日が続いたことで、生育調査ほ場の生育進度は概ね平年並かやや早く、ほ場によっては平年より出穂が3~4日程度早まっています。山武地域の成熟期は4月下旬植えの「ふさおとめ」「ふさこがね」で8月中旬、4月下旬植えの「コシヒカリ」で8月下旬を予測しています。例年より収穫適期が早まりそうなので、早めの準備をお願いします。また、斑点米の予防のためにカメムシの適切な防除を行いましょう（特に周囲と生育ステージが違うところで被害が出やすいので注意）。

## 参考 生育調査ほの調査結果

### 【主食用米】

品種	場所	年	移植日	幼穂形成期	出穂期	成熟期
ふさおとめ	山武市 (白幡)	30	4/26	6/21	7/13	(8/15)
		29	4/26	6/20	7/13	8/16
		平年値	4/28	6/19	7/13	8/17
ふさこがね	山武市 (成東)	30	4/26	6/16	7/11	(8/16)
		29	4/25	6/15	7/10	8/15
		平年値	4/30	6/17	7/16	8/18
コシヒカリ	東金市 (幸田)	30	5/3	6/29	7/23	(8/29)
		29	4/28	6/28	7/21	8/28
		平年値	4/24	6/27	7/21	8/29
コシヒカリ	山武市 (成東)	30	4/26	6/23	7/17	(8/24)
		29	4/25	6/23	7/18	8/28
		平年値	4/30	6/24	7/23	8/29
ふさのもち	山武市 (成東)	30	5/10	7/2	7/26	(9/2)
		29	5/10	6/30	7/22	8/29
		平年値	5/9	7/2	7/26	9/2

成熟期欄の ( ) は今年度の推定日

### 【飼料用米】

品種	場所	年	移植日	幼穂形成期	出穂期	成熟期
アキヒカリ	山武市	30	4/27	6/13	7/6	(8/9)
夢あおば	山武市	30	5/13	7/2	7/25	(9/7)

飼料用米は成熟期以降、1週間以内に収穫してください。

幼穂形成期は幼穂長 1mm 以上の稲が80%以上となった日。出穂期はほ場の40~50%が出穂した日。

## 郵便で配信している方へお願い

稲作情報の配信を郵便から、電子メールまたは FAX へ切り替えを進めています。電子メール・FAX をお使いの方は、下記までご連絡ください。

連絡先 山口 k.ymgch87@pref.chiba.lg.jp、0475-54-0226 (電話)  
今年度の稲作情報は今回が最後です。来年度、稲作情報が不要な方はご連絡ください。

## 登熟期～収穫期の高温対策について

記録的な猛暑が続いています。水稻の登熟適温は、平均気温21～25℃の範囲でより低い方が好適とされます。この暑さは、人間のみならず、稲にも過酷なものです。平均気温が25℃付近を超えると、地域の1等米比率が低下する傾向があります。具体的には、「乳白米」や「背白米」などの「白未熟粒」や、「胴割米」が増加します。高温障害を予防するため、以下の対策に努めましょう。

### ① 出穂後25日までは、落水しない

高温条件に水不足が重なると、高温障害の被害が大きくなります。

### ② 出穂2週間以降は、間断灌漑

「白未熟粒」の発生は、籾への養分転流・蓄積が阻害されることが原因と考えられています。根は、出穂期以降、徐々に減少しますが、間断灌漑によって登熟後半まで根の活力を維持しましょう。水を入れ替えることで、温度を下げる効果も期待できます。

### ③ 適期収穫

高温条件では登熟期間が短くなります。立毛中に籾が急激に乾燥または吸湿する場合や、収穫後の乾燥が急であると、胴割米が発生しやすいです。

【次年度に向けて】

#### ○適正籾数の確保

過繁茂で籾数が多すぎると、1粒1粒を充実させることが難しく、「白未熟粒」が発生しやすくなります。1穂籾数の少ない「ふさおとめ」は、高温に強い品種です。

#### ○地力の向上

作土が深く、地力があれば、登熟の後半まで、籾への養分供給を維持できます。ただし、肥料や堆肥を入れすぎると、食味が落ち、倒伏のおそれがあります。

#### ○中干しの徹底

早期落水をしなくても、コンバインが入れる圃場にしましょう。



山武市で、自動給排水システムの試験を行っています。

スマートフォンから、水田の水位を管理できるので、水回りを省力できます。異常があれば、スマートフォンに通知が来ます。必要な量だけ給水するので、節水効果も期待できます。

導入価格や中継器の設置など課題はありますが、注目です。

この情報は、山武農業事務所のホームページでも公開しています。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-sanbu/sanbu/gyoumu/gijutsujohou.html>